

エコアクション 21 相互認証版環境報告書

# 環境報告書

活動期間

2018年4月～2019年3月

2019年6月26日

有限会社サトー工業

## 1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 有限会社サトー工業
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 佐藤嘉章
- (3) 所在地 : 本社・事務所 三重県員弁郡東員町大字筑紫 339 番地  
 中間処理施設 三重県員弁郡東員町大字筑紫字北川原 339 番地  
 積替え保管施設 三重県員弁郡東員町大字穴太字長泥 999 番地
- (4) 事業内容 : 解体工事業  
 産業廃棄物収集運搬業  
 産業廃棄物処分業 (中間処理)  
 一般廃棄物収集運搬業
- (5) 資本金 : 33,000,000円
- (6) 沿革 : 1993年8月17日設立
- (7) 事業の規模 : 売上高 9.2億円  
 従業員数 29名 (アルバイト2名・技能実習生3名含む)  
 本社・事務所 敷地面積 8202.46 m<sup>2</sup> 延床面積 847.6 m<sup>2</sup>  
 中間処理施設 敷地面積 8202.46 m<sup>2</sup> 延床面積 1925.6 m<sup>2</sup>  
 積替え保管施設 敷地面積 342 m<sup>2</sup> 延床面積 342 m<sup>2</sup>
- (8) 許認可一覧と許可品目

### 1) 一般廃棄物関係

許可番号	有効期間
東員町 第802号	2018年4月1日～2020年3月31日
鈴鹿市 第125号	2018年4月1日～2020年3月31日
桑名市 第72号	2018年4月1日～2020年3月31日
いなべ市 第3104号	2019年4月1日～2021年3月31日
四日市市 第347号	2018年4月1日～2020年3月31日
川越町 第45号	2018年4月1日～2020年3月31日
朝日町 第収24号	2018年4月1日～2020年3月31日
クリーンセンター 第30-9号	2018年4月1日～2020年3月31日
津市 第143号	2018年5月7日～2020年3月31日
木曽岬町 第30-655号	2018年11月19日～2020年3月31日
亀山市 第75号	2018年6月1日～2020年3月31日

### 2) 産業廃棄物関係

許可番号	許可品目	有効期間
産業廃棄物収集運搬業 (優良) 三重県 第02411098704号	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む) 上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、廃油、廃酸、廃アルカリ、以上	2017年12月18日～ 2024年10月21日

	11種（保管積替えを除く。） 燃え殻（上記品目は水銀含有ばいじん等を含む）、汚泥（上記品目は水銀含有ばいじん等を含む）、鉱さい（上記品目は水銀含有ばいじん等を含む）、ばいじん（上記品目は水銀含有ばいじん等を含む）以上4種（保管積替えを除く）	
産業廃棄物収集運搬業 愛知県 第02300098704号	燃え殻（水銀含有ばいじん等を含む）、汚泥（水銀含有ばいじん等を含む）、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。）、鉱さい（水銀含有ばいじん等を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、ダスト類（水銀含有ばいじん等を含む）、以上12品目（積替え保管を除く）水銀使用製品産業廃棄物を含む	2017年11月27日 ～2022年10月17日
産業廃棄物収集運搬業 岐阜県 第02100098704号	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車破砕物は除く。）がれき類、上記10品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。 鉱さい、ばいじん 以上12種類（積替え保管を除く）	2018年1月23日 ～2023年1月15日
産業廃棄物収集運搬業 滋賀県 第02501098704号	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、鉱さい、工作物の新築改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物、ばいじん （石綿含有産業廃棄物を含む）（以上12項目）	2014年10月6日 ～2019年10月5日

産業廃棄物中間処理業許可

許可番号	許可品目	有効期間
三重県 第02421098704号	破砕： 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く。）紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を除く） （上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く）以上 6種	2016年6月14日 ～ 2021年5月19日

	選別： 上記 6 種に金属くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く）（上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く）を加えた以上 8 種	
--	--	--

積替え保管

所在地及び面積	産業廃棄物の種類	許可行政
場所：三重県員弁郡東員町大字穴太 字長泥 999 番 面積：342 m <sup>2</sup> 保管上限：219.2 m <sup>3</sup>	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、金属くず、ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を含む。） 上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を含む 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、廃油、廃酸（水銀含有ばいじん等を含む）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を含む）、 以上 11 種	三重県

・建設業許可番号

登録番号	有効期間
三重県知事 特-26 18281 号	2015 年 3 月 9 日 ~ 2020 年 3 月 8 日
三重県知事 特-28 18281 号	2016 年 9 月 12 日 ~ 2021 年 9 月 11 日

(9) 取扱い産業廃棄物

・処理実績

収集運搬実績	単位	2016 年	2017 年	2018 年
産業廃棄物運搬量	t	20,515	16,231	14,281
一般廃棄物運搬量	t	0	2	1

・運搬車両の種類（車両形式・積載量）と台数

運搬車両一覧					
	自動車登録番号	形式・寸法	車両の名称	最大積載量(kg)	備考
1	三重11に1161	KC-FC2JCDB 547 ×220×266	ダンプ	3,250kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
2	三重11ら3643	U-FV419JD 770× 248×343	ダンプ	8,000kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
3	三重100さ3218	KK-FK71HC 568 ×222×284	ダンプ	2,950kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
4	三重100さ1866	KK-FK71HE 635 ×222×290	ダンプ	2,550kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
5	三重100は3507	PJ-FK72FZ 632× 231×249	脱着装置付コン テナ専用車	7,900kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
6	三重400て8428	SKG-FBA20 434× 169×197	脱着装置付コン テナ専用車	2,000kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
7	三重100さ7775	KK-XZU311X 473 ×169×207	ダンプ	3,000kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
8	三重100は1541	KL-FK71HEZ 619 ×228×278	脱着装置付コン テナ専用車	7,900kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
9	三重100は4099	BDG-FV50JY 955 ×249×305	脱着装置付コン テナ専用車	10,600kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
10	三重100せ981	PDG-FK71R 585× 229×243	脱着装置付コン テナ専用車	3,750kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
11	三重100は4537	JKG-FK72FZ 604 ×230×249	脱着装置付コン テナ専用車	7,800kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
12	三重11ら911	P-FV419R1107× 249×283	キャブオーバー	9,000kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
13	三重11ら3064	U-FM618L 890× 249×254	キャブオーバー	6,250kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
14	三重400ち1370	KR-SYF4T 443× 169×198	キャブオーバー	1,000kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
15	三重100せ1573	PDG-FE73DY 598×193×263	キャブオーバー	3,500kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
16	三重100せ1571	PDG-FK71R 813× 224×292	キャブオーバー	2,450kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>
17	三重400て8061	SKG-FBA60 469× 169×196	ダンプ	3,000kg	新・ <del>継</del> ・ <del>廃</del>

18	三重100せ3775	TKG-FEA50 514× 187×263	キャブオーバー	3,000kg	新(継)・廃
19	三重100せ4763	TKG-FK71F 586× 223×245	脱着装置付コン テナ専用車	3,550kg	新(継)・廃
20	三重400な3753	TKG-FBA20 435×169×196	脱着装置付コン テナ専用車	2,000kg	新(継)・廃
21	三重480ち3440	EBD-S211P 339×147×184	ダンプ	350kg	新(継)・廃
22	三重100は6187	QPG-FV60VY 937×249×306	脱着装置付コン テナ専用車	10,500kg	新(継)・廃
23	三重400な8494	EBD-DA16T 339×147×175	ダンプ	350kg	新(継)・廃
24	三重100は6894	QKG-FS1EKDA 770×249×335	ダンプ	9,000kg	新(継)・廃
25	三重 130 さ 1810	2PG-FV70HX 793×249×340	ダンプ	8,800kg	(新)継・廃
26	三重 430 ふ 330	KK-WH35D 469×169×200	ダンプ	2,000kg	(新)継・廃
27	三重 430 せ 1903	TRG-NJR85A 468×169×196	キャブオーバ	2,000kg	(新)継・廃
28	三重 480 に 7676	DA17V-352015 339×147×189	バン	350 kg	(新)継・廃
29	三重 400 な 9993	LDF-KDH26V 469×169×198	バン	1,000 kg	(新)継・廃

#### 中間処理施設の種類及び処理能力

- ・破砕施設

油圧ショベル : 日立ZX80LCK  
 フォークリフト : 日産YL02M20

- ・その他施設

油圧ショベル : PC78US-6  
 自走式スクリーン : BM545S  
 フォークリフト : TCMFD40T2及びFD30T3

- ・処理能力

1) 破砕 : 廃プラスチック類 : 1.28 t/日 (8h)  
 木くず : 2.08 t/日 (8h)  
 紙くず : 1.36 t/日 (8h)  
 繊維くず : 0.96 t/日 (8h)

ゴムくず：1.28 t/日（8h）

ガラスくず等：3.68 t/日（8h）

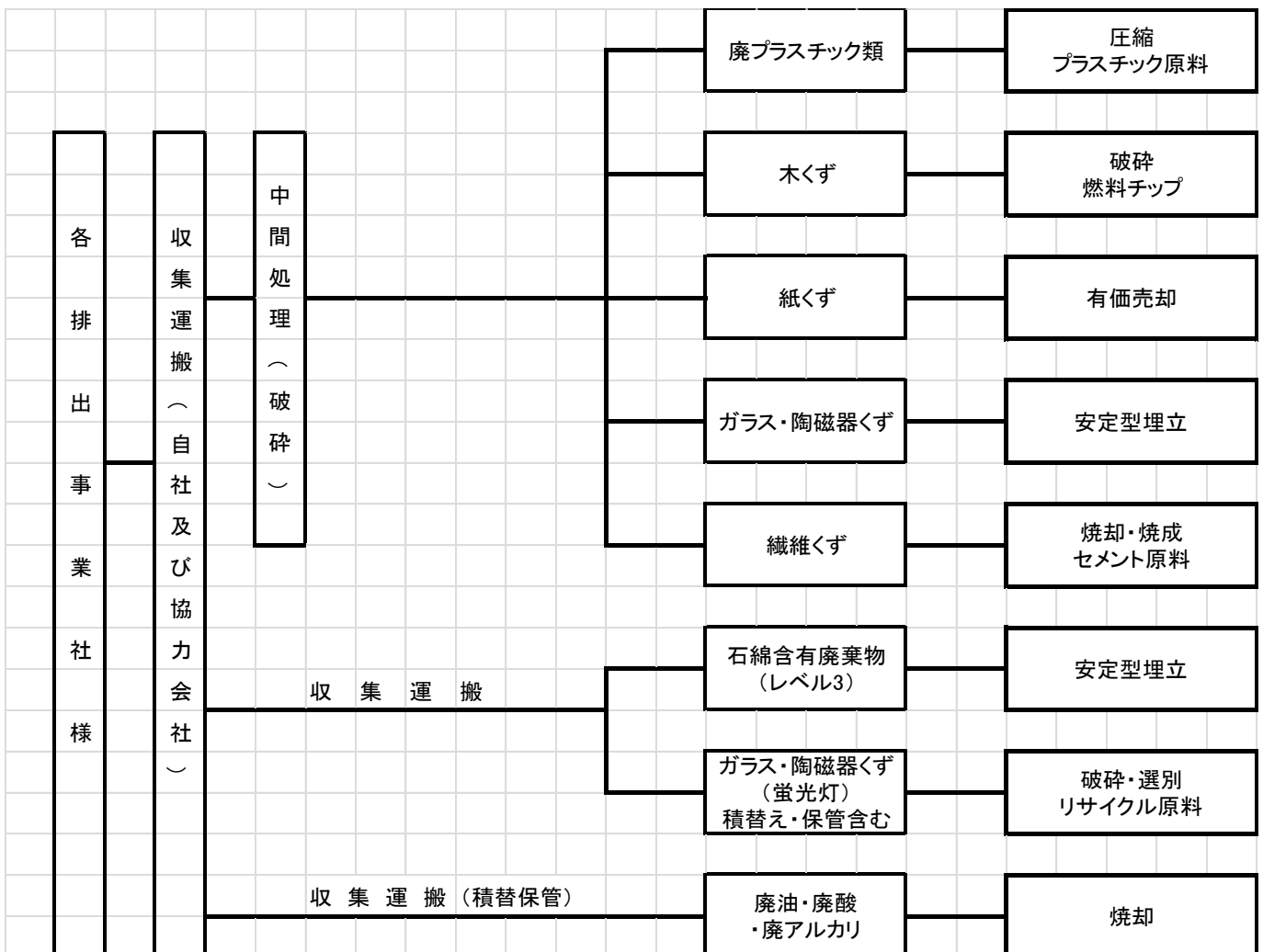
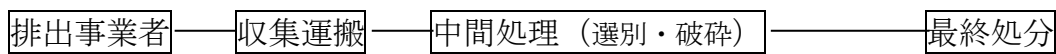
2) 選別 : 295.68 m<sup>3</sup>/日（8h）

処理実績（中間処理）

処理実績	単位	2016年	2017年	2018年
中間処理量	t	18,362	14,303	14,271

処理工程図

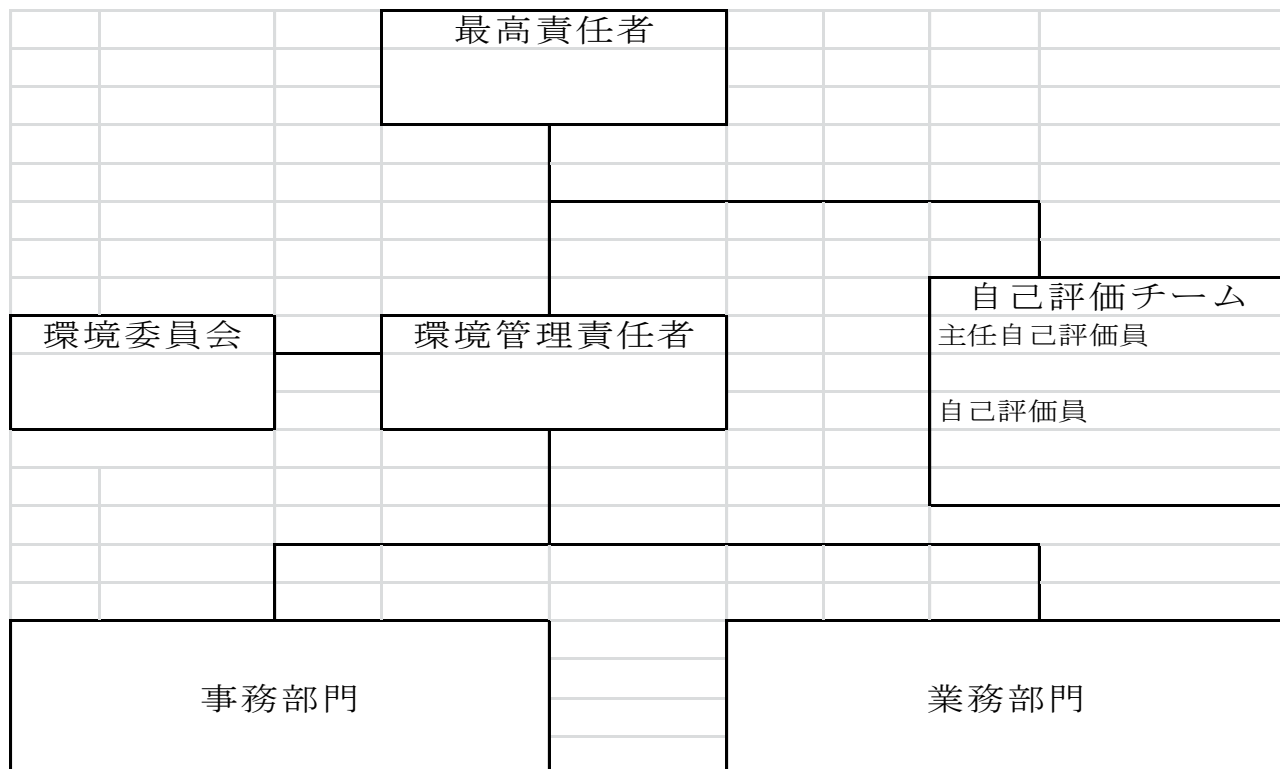
・処理工程図の概略フロー



(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離・廃棄物内容・回収形態等により、都度見積りをおこなう。

(11) 環境活動の取組体制



環境管理責任者：吉兼律男（TEL0594-76-3265 FAX0594-76-1601）

2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS 登録証

登録日：2016年8月1日

登録期限：2019年7月31日

登録番号：M-EMS2W-0011 KES2W-5-0011

(2) 登録範囲

産業廃棄物の収集運搬及び、産業廃棄物の処分（中間処理）

(3) 対象事業所

本社・事務所 三重県員弁郡東員町大字筑紫 339 番地

中間処理施設 三重県員弁郡東員町大字筑紫字北川原 339 番地

積替え保管施設 三重県員弁郡東員町大字穴太字長泥 999 番



### 3. 環境宣言

## 環 境 宣 言

### 基本理念

有限会社サトー工業は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、企業活動における環境との関わりを評価し、全組織を挙げて、環境調和型社会の実現に努力します。

### 方針

有限会社サトー工業は、解体工事業、産業廃棄物の収集運搬業・処分業及び一般廃棄物の収集運搬業に係る全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。  
なお、環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境関連の法的要求事項、及び当社が合意するその他の環境要求事項を順守すると共に、関連する社会要求を尊重します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響項目のうち、次の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - (1) エネルギー 電力使用量の削減
  - (2) 環境教育・啓発活動
  - (3) 燃料の削減
  - (4) 紙の使用量削減
  - (5) グリーン購入（調達）
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県及び東員町の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメント活動を推進します。

制定日 2015年 1月 1日

改訂日 2017年 6月 29日

有限会社サトー工業  
代表取締役 佐藤 嘉章

#### 4.環境改善目標

##### 環境改善目標（2016～2018年度）及び実績

NO.	環境改善目標	基準年度	単位	単年度目標と実績(注)			
	(中長期)	2015年度 実績			2016年度	2017年度	2018年度
1	電力使用量の削減 (基準年度比 5%削減)	97,035	kWh	目標	1%削減 96,065	3%削減 94,124	5%削減 92,183
				実績	89,457 7.8%削減	82,667 14.8%削減	87,608 9.7%削減
	・二酸化炭素排出量	53,466	kg-CO <sub>2</sub> /年	目標	52,931	51,862	50,792
				実績	49,291	45,550	48,272
	・二酸化炭素削減量 (基準年度比)			削減 実績	4,175	7,916	5,194
2-1	ガソリン使用量の削減 (基準年度比 2%削減)	16,373	ℓ	目標	1%削減 16,200	2%削減 16,044	2%削減 16,044
				実績	12,987 20.6%削減	11,010 32.7%削減	13,145 19.7%削減
2-2	軽油使用量の削減 (基準年度比 2%削減)	177,948	ℓ	目標	1%削減 176,160	2%削減 174,384	2%削減 174,384
				実績	181,433 1.9%増加	171,357 3.7%削減	147,168 17.2%削減
2	ガソリン・軽油(燃料)使用量 の削減 ・二酸化炭素排出量 ・二酸化炭素削減量 (基準年度比)	497,091	kg-CO <sub>2</sub> /年	目標	492,120	487,149	487,132
				実績	498,226	467,644	410,189
				削減 実績	+1,135	29,447	86,902
3	事務用紙使用量の削減 (基準年度比 5%削減)	16,500	枚	目標	1%削減 16,335	3%削減 15,996	5%削減 15,675
				実績	16,131 2.2%削減	15,670 5.0%削減	14,872 9.8%削減
4	エコ製品の購入  12個	12	個	目標	基準年度 維持 12	基準年度 維持 12	基準年度 維持 12
				実績	12	12	12
5	環境教育(1回/2ヵ月)  6回	6	回	目標	基準年度 維持 6	基準年度 維持 6	基準年度 維持 6
					6	6	6
				実績	6	6	6

	・二酸化炭素削減量(基準年度比の合計)	kg-CO <sub>2</sub> /年	削減実 績	3,040	37,363	92,096
--	---------------------	--------------------------	----------	-------	--------	--------

(注)2018年度より、環境改善活動期間は、行政年度と整合させる目的で1月～12月から4月～翌年3月へと変更する。

排出係数:電力 0.551kg-CO<sub>2</sub>/kWh ガソリン 2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓ 軽油 2.58kg-CO<sub>2</sub>/ℓ

出典:2014年(平成26年)環境省より

なお総排出量(水の使用量)は、改善目標から除外していますが、管理項目として取り上げ、節水を心がけ、その削減に努めている。

グリーン購入においては、事務用品をメインに購入品目の増加に努める。

化学物質においては、その使用実績がありません。

## 5.環境改善目標と実績

### 2018年度 環境改善活動実績

No.	環境改善目標	具体的施策	項目	単位	目標値	実績値	評価
1	電力使用量の削減 (基準年度比 5%減)	1.照明器具見直し	電力使用量	kWh	92,183	87,608	A (105.2%) 基準 年度比 9.7% 削減
		2.エアコンの適正温度	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	50,792	48,272	
		3.休憩時間の消灯	二酸化炭素削減量	kg-CO <sub>2</sub> /年	2,674	5,194	
		4.自動照明装置導入					
		5.設備運転の効率化					
2	ガソリン・軽油(燃料) 使用量の削減 (基準年度比 2%減)	1.エコドライブ講習	燃料使用量	ℓ	190,428	160,313	A (118.7%) 基準 年度比 9.9% 削減
		2.過積載の防止	CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	487,132	410,189	
		3.燃費記録	CO <sub>2</sub> 削減量	kg-CO <sub>2</sub> /年	9,959	86,902	
		4.重機安全運転					
3	事務用紙使用量の 削減 (基準年度比 3%減)	1.ミスプリント防止		枚/年	15,675	14,872	A (105.3%) 基準 年度比 9.8% 削減
		2.両面使用の励行					
4	啓発活動	環境教育 1回/2ヶ月	開催回数	回/年	6	6	A (100%)
5	エコ製品の購入	1.エコ製品の調査 2.文具の計画購入 3.取引先にエコ 商品要請	購入数量	個/年	12	12	A (100%)

評価記号 A:良好(100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

			目標値	実績値
2018年度	二酸化炭素削減量	kg-CO <sub>2</sub> /年	12,633	92,096

排出係数:電力 0.551 kg-CO<sub>2</sub>/kWh ガソリン 2.32 kg-CO<sub>2</sub>/ℓ 軽油 2.58 kg-CO<sub>2</sub>/ℓ

出典:2014年(平成26年)環境省より

No	管理項目での実績	具体的施策	項目	単位		実績値
1	水の使用量削減	洗面所の水は必ず締める 洗車時水を出しっぱなし にしない	水使用量	m <sup>3</sup> /年	595	707
2	グリーン購入	エコ商品カタログの活用	購入項目	個	12	12
3	リサイクル率			%	95	95

### 5-1. 具体的環境活動の評価

- ・ 電力使用量については、2015年度比（基準年度比）9.7%削減と目標5%減を達成している。  
その一方で8・9・12・1月は目標値を超過しているため、今後は休憩時間の消灯、事務所のエアコン稼働時間短縮等による消費電力の削減対策を再検討します。
- ・ 燃料（ガソリン軽油）使用量は2015年度比（基準年度比）17.5%減で目標2%減を達成している。
- ・ 事務用紙使用量は2015年度比（基準年度比）9.8%減で目標5%減を達成している。
- ・ 総排出量（水の使用量）は、改善目標から除外していますが、管理項目として取り上げ、節水を心がけ、その削減に努める。
- ・ グリーン購入においては、事務用品をメインに購入品目の増加に努める。
- ・ 二酸化炭素削減量は、2015年度（基準年度）に対し92,096 kg-CO<sub>2</sub>/年であり、2018年度の目標値12,633kg-CO<sub>2</sub>/年を大幅に上回っている。

### 5-2. 2019年度活動についての今後の課題

上記活動評価内記載の対策の他、目標数値の設定基準見直しを行いながら、消費燃料を必要最小限にとどめる対策として、運行経路の最適化、エコ運転の実施を目指していきます。

総排出量（水の使用量）は、改善目標から除外していますが、管理項目として取り上げ、節水を心がけ、その削減に努めていきます。

グリーン購入においては、事務用品をメインに購入品目の増加に努めます。

## 6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果違反は無かった。

なお、関係機関等からの指摘・苦情・訴訟は無かった。

## 7.代表者による全体の評価見直しの結果

### 7-1. 全体評価

環境改善に対する全社員の意識変化が少しずつ成果に現れています。  
しかしながら電気・軽油の使用量削減については業務量の大幅な増加という会社としては嬉しい変化ではありますが、目標数値を大きく超えている月もある為、ガソリン・軽油については通行ルートの計画化、近隣処分場の調査、エコ運転など、できる対策をやっていく必要がある。

### 7-2. 見直し評価

環境宣言の変更の必要性	: なし
環境改善活動及び環境経営システム等の変更の必要性	: なし

以上